

じょうもんよしこ い ろっかしよむら 4 せんねんまえ せかい
「縄文美子が生きた六ヶ所村4千年前の世界」

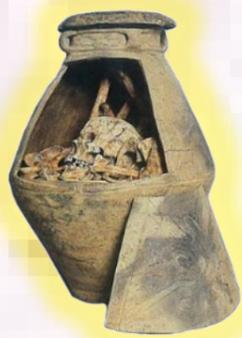
なぞおお じょうもんじだいこうき せま
～謎多き縄文時代後期に迫ります～

あいさつ

しぜんゆた めぐ ろっかしよむら せんしじだい かずおお いせき
自然豊かに恵まれた六ヶ所村には、先史時代からの数多くの遺跡があり
ます。今回の企画展では、「縄文美子が生きた六ヶ所村4千年前の世界」と
だい しゅつど とき いぶつ ちゅうしん てんじ
題し、出土した土器や遺物を中心に展示します。

こんかい と あ せんねんまえ じょうもんじだいこうき かんれいか すず かいだいげんしょう
今回取り上げる4千年前の縄文時代後期は、寒冷化が進み、海退現象も
みられ、東日本では大規模集落が分散し、集落や墓のあり方、社会構造や
せいしんぶんか へんようき とうかん じょうもん
精神文化などの変容期にあたります。ちょうど当館のキャラクター「縄文
よしこ い じだい じょうもんじだいこうき ひとびと おも
美子」が生きていた時代です。縄文時代後期の人々がどのような思いで、
ろっかしよ だいち せいかつ し たいかん
ここ六ヶ所の大地で生活していたのかを、「知って、体感して」いただき、
ろっかしよむら みりょく はくくつ はっけん はっしん ねが
六ヶ所村の魅力の「発掘・発見・発信」につながることを願っております。

さいご きかくてん さい あおもりけんまいそうぶんかざいちょうさ きょうりょく
最後に、この企画展に際し、青森県埋蔵文化財調査センターのご協力を
え あらた ば か れい もう あ
得ることができました。改めて、この場をお借りしてお礼を申し上げます。
ありがとうございました。



じょうもんよしこぞう じんこつ はい かめかんと き いやさかだいらいせきしゅつど
縄文美子像と人骨が入っていた甕棺土器(弥栄平遺跡出土)

ろっかしよそんりつきょうどかんしていかんりしゃ
六ヶ所村立郷土館指定管理者

いっばんざいだんほうじんろっかしよむらぶんかしんこうこうしゃ
一般財団法人六ヶ所村文化振興公社

ろっかしよそんりつきょうどかんちょう すず き ひろし
六ヶ所村立郷土館長 鈴木 浩